

日常生活における環境保全行動（市民環境配慮）

この環境配慮指針は、市民の日常生活における環境負荷の低減や環境保全活動の実施など、環境にやさしい暮らしづくりなどエコライフを進めていくための取り組みの内容を示したものです。それぞれのライフスタイルに応じて、できることから取り組んでみましょう。

1 自然に学び、恵みを楽しみ・いかすまち

雑木林・緑 いきいきプロジェクト

身近な雑木林や自然地にでかけ、自分にあった楽しみ方を探す。

- 雑木林や里山、水辺などに散策や親子や友人と一緒に遊びにでかけます。
- 市や地域、民間団体が行っている自然観察や体験学習、環境イベント、雑木林や水辺の保全活動などに参加や協力します。
- 北本市の環境情報を提供し、幅広い市民への情報発信に協力します。

雑木林や水辺などの自然環境の保全活動への協力や参加

- 地域や民間団体が実施している雑木林などの自然を活かした体験学習や環境イベント、環境保全活動、自然観察などに参加や活動に協力します。

住まいの緑化、住まい周辺の公園や道路などの緑の保全や美化

- 屋敷林や家の周りの樹木などの保全と管理を進めます。
- 家の周りでの植栽や生垣の設置、ガーデニング、壁面緑化やグリーンカーテン、花づくりなど、それぞれの生活にあった住まいの緑化を考えます。
- 住まい周辺の公園緑地や街路樹などの落ち葉掃きや清掃、水辺の美化を進めます。

1	雑木林や水辺など自然環境の保全と創造
2	多様な生物が生息し、ふれあい豊かな環境の保全と創造（生物多様性の保全）
3	豊かな農地の保全と創造
・市民農園を積極的に活用しましょう。 ・地元の農産物を積極的に購入しましょう。	
4	緑豊かな快適な都市環境の創造

2 資源やエネルギーを大切に利用し、環境にやさしい暮らしをつくるまち

1 健康を支えるきれいな空気・水・土の維持

- ・簡易焼却炉や野焼きによるごみの焼却を行わないようにしましょう。
- ・できる限り移動には自転車や徒歩、鉄道などの公共交通機関を利用しましょう。
- ・自動車の購入時には、低公害・低燃費車を積極的に選択しましょう。
- ・自動車を利用するときには、エコドライブに心がけましょう。
- ・公共下水道が整備されている地域では、積極的に接続を進めましょう。また、公共下水道が整備されない地域については、合併処理浄化槽の導入を図りましょう。
- ・合成洗剤の使用を石けん使用に切り替えましょう。
- ・洗剤の使用量を抑え、食用油などは流しに直接流さないようにしましょう。
- ・不法投棄をしないようにしましょう。
- ・ダイオキシンや環境ホルモンなどの発生源となるような製品の使用は控えましょう。
- ・害虫駆除や除草に使う殺虫剤・薬品は、できる限り使用しないようにしましょう。やむを

得ず使用するときは、使用量を必要最低限にしましょう。

- ・不要になった農薬や化学薬品などは、適切に処分・処理をしましょう。

2 騒音・振動・悪臭の防止

- ・ピアノやカラオケなどの生活騒音の発生を防止しましょう。
- ・エアコンや掃除機・洗濯機など電化製品を購入する際は、低騒音型のものを積極的に選択しましょう。
- ・悪臭発生のないように配慮しましょう。
- ・悪臭の発生源調査に協力しましょう。

ごみ減量・4R もったいないプロジェクト

ごみ処理の実態や問題などを学ぶ

- ごみカレンダーなど市が提供する情報やごみの減量、4Rの必要性、ごみ処理の実態を知ります。

4R（ごみの減量・資源化）の推進

- 詰め替え商品を選ぶなどごみをもとから減らすリデュースや、レジ袋を断る、不要なものはもらわないなどリフューズを徹底します。
- 繰り返し使う、修理して使う、フリーマーケットを活用するなどリユースを進めます。
- 各種リサイクル法で決められたものは、その手順に沿ってきちんとリサイクルします。
- ごみとして出すまえにリサイクルできるものは分別を徹底し、資源回収に出します。
- リサイクルによる再生品などを積極的に選択して使います。
- ごみカレンダー通り分別やごみ出しします。また、ごみ減量等推進市民会議の活動に協力します。
- 生ごみの水切りやたい肥化、エコクッキング、食べ残しをしないなど、生ごみの減量を進めます。

ごみの散乱・不法投棄の防止

- ごみのポイ捨てや不法投棄はしません。また、地域での清掃や環境美化活動に参加・協力します。

3 4R（ごみの減量・資源化）の推進

4 廃棄物の適正処理の推進

省エネ・創エネ エコライフプロジェクト

自分のエコライフスタイルを実践（省エネの実践）

- 地球温暖化やエネルギーに関する環境学習への参加、家庭でできる節電などの省エネの情報を活用して、自分のライフスタイルに合ったエネルギーの賢い利用を考えます。
- 環境家計簿などを活用して、自分のエコライフスタイルによる省エネ状況をチェックし、見直します。
- 化石燃料などを使わない環境にやさしいエネルギー利用について考えます。

自転車や歩きを楽しむ

- 日常の買い物や近所へ出かける時は、自家用車の利用を控え、自転車や歩いていき、まち歩きを楽しむようにします。
- 通勤・通学時には、自家用車利用を控え、自転車や公共交通を活用します。

省エネ型の住まいづくりや緑化を進める

- 住宅周辺の敷地を使った植栽や壁面緑化、夏場のグリーンカーテン設置など、緑化や緑を活か

した住まいづくりを進めます。

- 住宅の断熱化や自然採光・通風、太陽熱を活かした住まいづくりを進めます。
- 太陽光発電や太陽熱給湯器など再生可能エネルギー利用の導入を検討します。
- エコハウスやスマートハウスなどエネルギーを賢く使える住まいづくりを進めます。

5 賢いエネルギー利用の推進（CO₂排出量の緩和）

6 環境にやさしい（低炭素型）まちづくりの推進

3 一人ひとりが輝く、環境の環（わ）をつくり広げるまち

きたもと環境の環（わ）プロジェクト

自主的な環境配慮や環境保全行動の実践（エコライフ等の実践）

- 省エネ行動など、自分のエコライフスタイルを実践し、ステップアップします。
- 環境負荷の少ない住まいづくりを検討します。
- 商品の購入や設備・家電、自動車の買い替えなどに際して環境にやさしいものを選びます。

環境教育や環境学習への参加

- 市や地域、民間団体等が進める環境学習や体験学習に積極的に参加します。
- 学校での環境教育・体験学習に協力します。子どもと一緒に学びます。

市民の環（わ）づくりへの参加

- 市や地域、民間団体等が開催する環境保全活動等に参加し、環境の環（わ）を広げます。
- 協働によるまちづくりや環境保全活動を進める市民の環（わ）「（仮称）きたもと環境ネット」への参加や環境ネットが進める環境保全活動に参加します。

1 環境にやさしい生活・事業活動の普及・促進

2 環境教育・環境学習の推進

3 環境を守り・育てる 市民の環づくりの推進

4 環境情報の充実と提供・共有化の推進